

教職員働き方改革アクションプラン 令和 6 年度～令和 1 1 年度（概要）

～みんなで 変わろう！変えよう！ 子どもたちの未来のために～（福島県教育委員会「業務量管理・健康確保措置実施計画」）

令和 8 年 2 月改訂

背景

福島県教育委員会では、一方通行の授業を個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革していく「学びの変革」を進めている。その実現のため、複雑化・困難化した膨大な業務で、授業の準備や日々の研修に時間を割くことができない状況に陥っている「学校の在り方」も変革する必要がある。また、教職員が長時間の勤務によって、負担感や疲労感を抱えたまま授業等しなければならない状況は、教育の質を低下させ、子どもたちにも悪影響を及ぼすことになりかねない。

目的

子どもたちと
教職員の
Well-being
の実現

達成の
ために

学校の在り方の変革

学びの変革

を両輪で推進する

時間外勤務時間の削減

仕事と私生活の両立

研さんの時間の確保

教師の健康確保

教職人生を豊かに

質の高い授業の実践

目標

- ① 仕事と私生活を両立できていると感じる教職員の割合 80%以上を目指します。
- ② 質の高い授業をするために、授業の準備や自己研さんのための時間を確保できていると感じる教職員の割合 80%以上を目指します。
- ③ 全教職員の時間外勤務時間を、月 45 時間以内かつ年 360 時間以内にします。
- ④ 児童生徒等に係る通常予見できない業務量の大幅な増加があっても、時間外勤務時間が月 80 時間を超える教職員をゼロにします。

取組

県立・市町村立
共通取組

(1) チーム学校の構築

- スクール・サポート・スタッフの配置・活用
- 専門スタッフ（SC）等との連携
- 学校に対する保護者等からの過剰な苦情や不当な要求への対応
 - ・「対応ハンドブック」の改訂
 - ・スクールロイヤーの活用 など

(2) 各学校の教育課程の見直し

(3) 業務分担の見直しによる負担の平準化

- 複数担任制等の活用や進路指導や週休日の部活動の担当者割振りの見直し など
- 休憩時間の確保や業務の持ち帰りがいない状態を目指す など

(4) 教育・校務のDX推進

- 「ふくしまクラウドサービス(fcs)」の活用
- 県立中学入試でのWEB出願の導入
- 次世代の校務支援システム導入に向けた検討
- 文書処理の見直し など

(5) マネジメント体制の強化

- 勤怠管理システム等による出退勤時間の管理
- 平日の学校解錠・施錠時刻の適切な設定と遵守
- 児童生徒一斉下校日の設定と取組の徹底
- 夏季休業中における学校閉庁日の設定等
- 年次有給休暇の取得の促進 など

(6) 持続可能な部活動運営 **重点**

- 休養日や練習時間の適切な管理
- 適切な学校部活動運営のための体制整備
 - ・部活動指導員の配置 など

(7) 地域・保護者への理解の醸成 **重点**

- チラシ等による丁寧な情報発信

(8) 教頭の業務負担軽減 **重点**

- 教頭が行う業務の積極的な見直し

健康及び福祉の確保に向けた取組

- 健康管理のための医師面接、心身の健康相談窓口の設置 など

市町村立学校向けの取組

- (1) 教頭マネジメント支援教員の配置
- (2) 中学校での休日の部活動の地域展開

県立学校向けの取組

- (1) デジタル採点システムの活用
- (2) ICT関連業務の負担軽減
- (3) 施錠時刻の適切な管理等
- (4) 上限を上回った場合の事後検証の実施
- (5) 特別な支援を必要とする児童生徒対応への支援

フォローアップ

- (1) 働き方と勤務の在り方変革事業による伴走支援
- (2) 勤務実態調査等の実施・公表等
- (3) 知事部局等との連携
 - ・総合教育会議への報告 など